Model Course ⑱

二上山（にじょうざん）

【葛城第二十六経塚（二上山）】
【葛城第二十七経塚（逢坂）】

役行者ゆかりの古刹をめぐり 万葉の山、二上山の経塚へ 奇勝・どんづる峯にも足を延ばす

雄岳・雌岳からなる双耳峰、二上山は、大阪・奈良いずれの側からもよく目立ち、万葉の昔から親しまれてきた山だが、雄岳山頂に経塚があることはあまり知られていない。東麓には当麻寺や石光寺など役行者にまつわる古寺が多く、見どころとなる。

ダイヤモンドトレール最北の山であり、ダイトレ起点である「どんづる峯」も葛城修験の行場だ。また、第二十七経塚は、個人宅内にあるので、近隣の大坂山口神社に詣でて、経塚を拝したとしておこう。

当麻寺駅を出て、参道を西に直進すると當麻寺にいたる。當麻寺の境内には役行者ゆかりの史跡がいくつかある。塔頭のひとつの中之坊には、役行者が和薬・陀羅尼助を作るために加持したという井戸が残る。東塔を借景とした庭園も見事だ。行者を祀る竹之坊を見て北門から出る。役行者が開山したといわれている中将姫ゆかりの石光寺、高雄寺を経由して一本柱の傘堂に向かい、二上山へ。祐泉寺で道は2手に分かれるが、左の道で岩屋峠に登る。峠直下に、中世に第二十六経塚であった国史跡「岩屋」があるので、立ち寄っていこう。

峠からは雌岳の西斜面の山腹道を行く。春には桜の道となる。左にダイトレ北入口分岐が現われるが、いったん馬の背に上がり、雄岳に登って経塚に手を合わせて行こう。分岐からは北へ、アップダウンしながら高度を下げ、ダイトレ北入口から東へ。穴虫峠の馬頭観音は旧道沿いにある。峠を越えると左に、どんづる峯の入口がある。顕著な山頂はないが、凝灰岩の露出した奇勝として知られる。

そのまま道路を東へ向かい、穴虫交差点で北側の道に入って農道を経由して二上駅へ。駅を越えて踏み切りを渡り、道なりに東へ。案内にしたがい左折して、大坂山口神社に参る。

歩行距離 ◆ 約13km	体力レベル ☆☆★
歩行時間 ◆ 4時間15分	登山レベル ☆☆★

コースタイム

START 近鉄南大阪線当麻寺駅
↓ 25分
當麻寺
↓ 石光寺経由20分
傘堂
↓ 45分
岩屋峠
↓ 10分
ダイトレ分岐
↓ 20分
葛城第二十六経塚
↓ 15分
ダイトレ分岐
↓ 1時間
ダイトレ北入口
↓ 10分
どんづる峯
↓ 50分
大坂山口神社
↓ 10分
GOAL 近鉄大阪線二上駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

※実際の修行の道とは異なります。

コース情報

中将姫が織り上げた當麻曼荼羅が本尊の當麻寺と二上山

ダイヤモンドトレールから見上げる双耳峰の二上山

岩屋から桜の咲く雌岳周遊路を馬の背に向かって歩く

どんづる峯は鶴が屯するように見えたのが名の由来

アクセス

往路
近鉄南大阪線当麻寺駅

復路
近鉄大阪線二上駅

アドバイス

おおむね登山になるのでトレッキングシューズを。當麻寺から二上山へは、石光寺や高雄寺を経由しなければ、10分ほど短縮される。中之坊拝観は有料だが、庭園や霊宝殿のほか、行者の大釜や井戸、役行者が深蛇大王を勧請した龍王社などもある。石光寺も要拝観料。また、日時計のある雌岳山頂へは馬の背から5分。